

光市の公共施設マネジメントについて

- 1 公共施設マネジメントの概要
- 2 公共施設の縮減状況
- 3 今後の見込み
- 4 取組手法



1 公共施設マネジメントの概要

- 光市公共施設等総合管理計画策定(平成29年3月)

長期的な視点で、真に必要な公共施設の量と質の最適化を図る。



公共施設マネジメント



【計画期間】

平成28年度～令和17年度(20年間)

【目標】

公共施設等の建物の

総延床面積(約206,000㎡)を20%縮減

前期10年(平成28年度～令和7年度):8%縮減

後期10年(令和8年度～令和17年度):12%縮減

2 公共施設の縮減状況

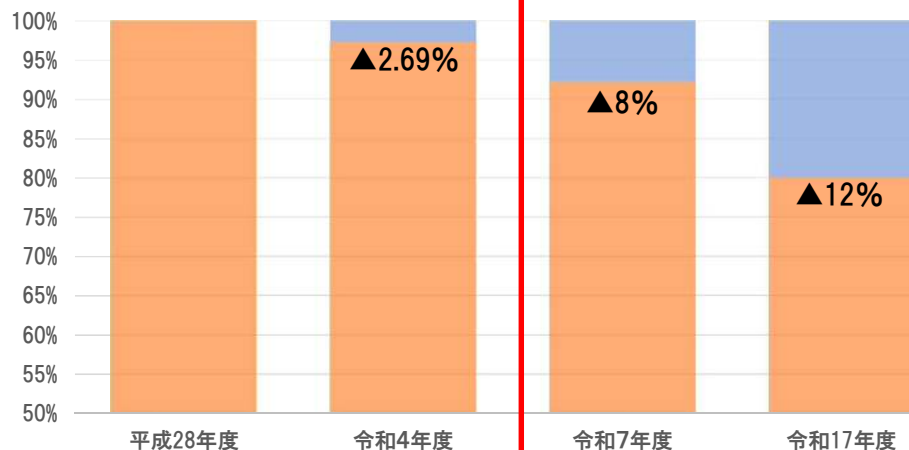
●令和4年度の取組

該当建物	縮減面積	備考
市営住宅	▲1,455.88㎡	西之浜住宅及び東領家住宅の一部、溝呂井住宅
幼稚園	▲645㎡	つるみ・さつき幼稚園
西部在宅介護支援センター	▲85㎡	
しまた在宅介護支援センター	▲645㎡	
光市障害者(児)地域支援施設「海浜荘」	▲480㎡	
合計	▲2,770.88㎡	

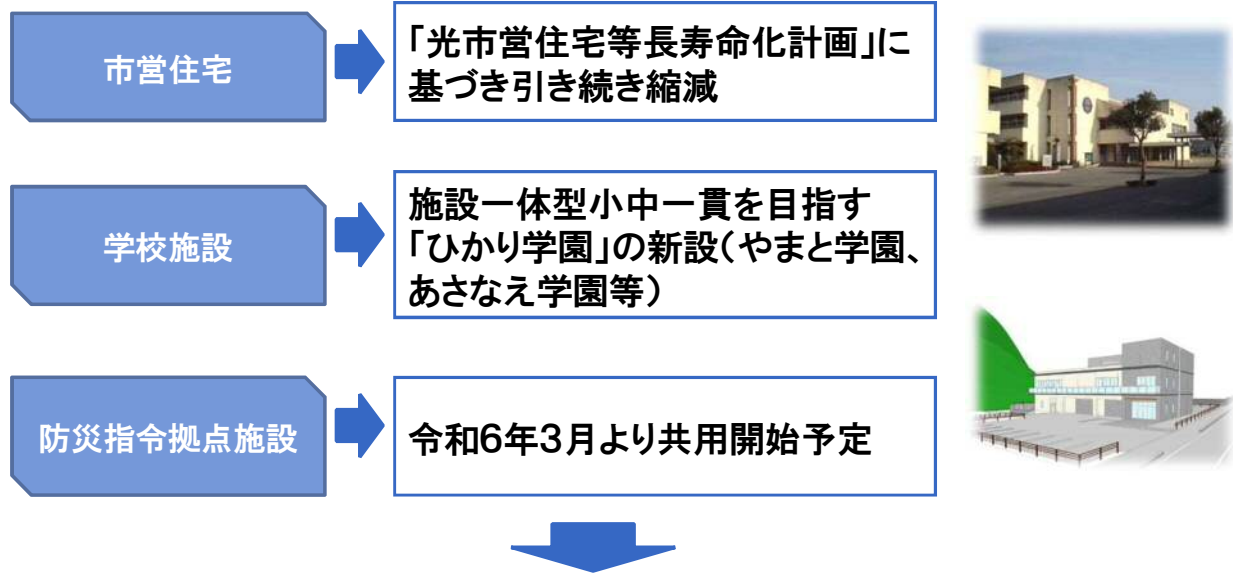
2 公共施設の縮減状況

(目標値)

	平成28年度	令和4年度	令和7年度	令和17年度
総延床面積	206,965.59㎡	201,396.09㎡	約190,000㎡	約165,000㎡
縮減面積	-	▲5,569.5㎡	約▲16,000㎡	約▲25,000㎡
縮減率	-	2.69%	8%	12%

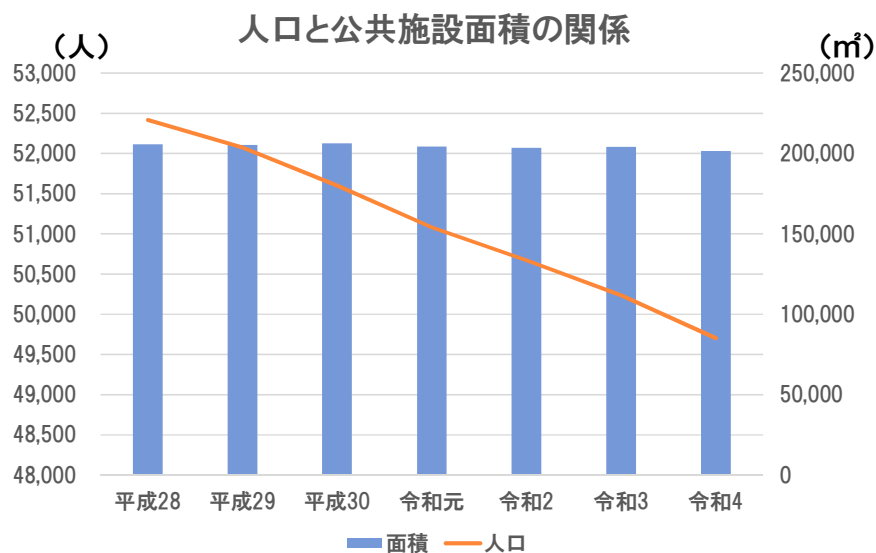


3 今後の見込み



当初の計画で予定していない施設が建設されることもあり、床面積の縮減が困難

3 今後の見込み



人口は減少する一方で面積の縮減が進まない

人口減少に伴う建物の最適化が必要

4 取組手法

施設別の取組方針(廃止、解体、複合化等)については「公共施設等総合管理計画」の5章に記載

●廃止、解体以外の手法

複合化



複数の公共施設の機能を一つの施設に集約

例

A小学校

Bコミセン



A小学校
Bコミセン

○メリット

- ・公共施設の総面積縮減
- ・維持費等のコスト抑制
- ・跡地の利活用
- ・相互作用に伴う施設の効果的利活用

4 取組手法

◎複合化の事例:学び・交流プラザ(周南市)



参照:周南市ホームページ

学び・交流プラザ

図書館

体育館

生涯学習センター

ホール等

図書館、生涯学習センター、体育館等の複合化
公共施設の役割を相互作用によって高める効果

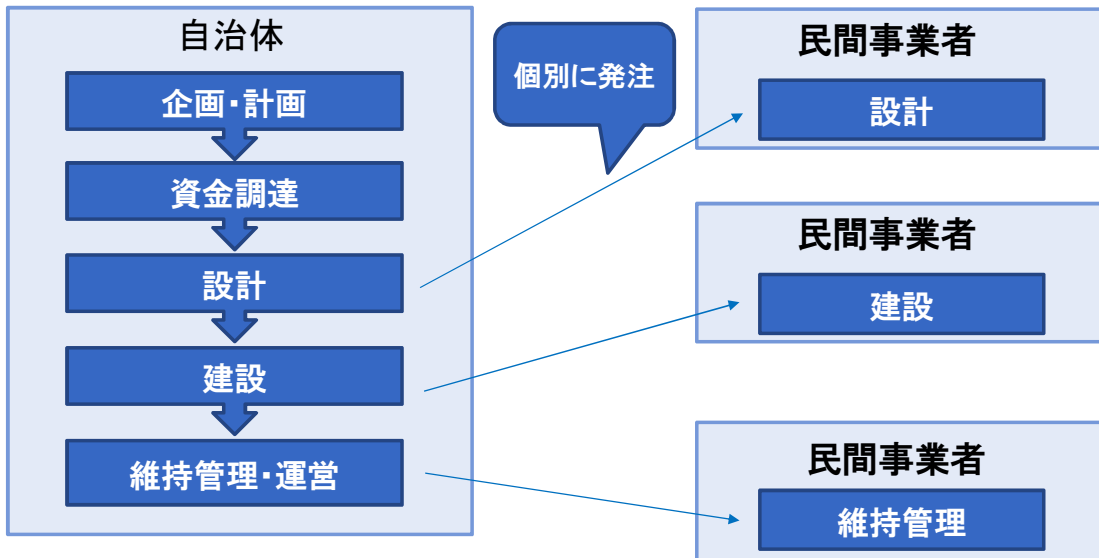
4 取組手法

PFI
(Private Finance Initiative)



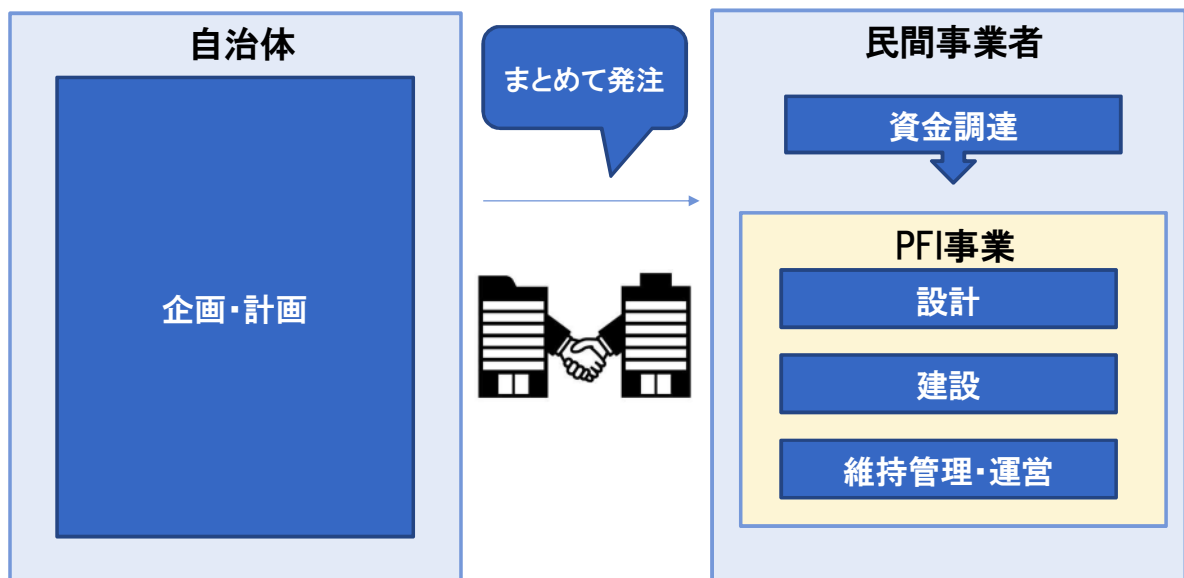
公共施設等の設計、建設、維持管理等に、民間の資金と技術力を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う手法

○従来の手法



4 取組手法

○PFIの手法



○メリット

- ・自治体の財政負担軽減
- ・効率的な公共施設の維持管理

4 取組手法

◎PFIの事例:周南緑地整備管理運営事業(周南市)



参照:周南市ホームページ

総合スポーツセンター等の整備、運営
市が直接実施する場合と比較して、PFIの方式で実施した方が市の財政負担額が縮減される試算